

医療学会（京都大、京都、2014. 3. 4-6. 国立京都国際会館）

- 3) 小林美登、川瀬知之、奥田一博、吉江弘正. ヒト培養骨膜細胞の直接的血管新生作用. 第 13 回日本再生医療学会（京都大、京都、2014. 3. 4-6. 国立京都国際会館）
- 4) 川瀬知之、上松晃也、永田昌毅、奥田一博、中田 光、吉江弘正. 細胞重層化したヒト培養骨膜シートと単層骨膜細胞シートの細胞接着様式の比較. 第 13 回日本再生医療学会（京都大、京都、2014. 3. 4-6. 国立京都国際会館）
- 5) 堀水 慎、川瀬知之、中島 悠、奥田一博、永田昌毅、吉江弘正. コラーゲンスポンジと複合化した凍結乾燥 PRP の有用性. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会（新潟、2013. 11. 9.）
- 6) 小川 信、永田昌毅、星名秀行、山田一穂、上松晃也、川瀬知之、吉江弘正、魚島勝美、高木律男. 培養自家骨膜シートを用いた歯槽骨再生療法の臨床試験. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会（新潟、2013. 11. 9.）
- 7) 小林美登、川瀬知之、奥田一博、吉江弘正. ヒト骨膜細胞の血管新生促進作用の検証. 第 139 回日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会（日大、秋田、2013. 10. 17-18. 秋田県総合生活文化会館）
- 8) 小林美登、川瀬知之、奥田一博、吉江弘正. 多血小板フィブリン-PRF-の血管新生促進作用. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会（新潟、2013. 7. 13.）
- 9) 堀水 慎、久保田健彦、川瀬知之、永田昌毅、奥田一博、富田尊志、両角俊哉、吉江弘正. Platelet-rich fibrin (PRF) との複合化によるヒト培養骨膜シート骨形成活性の亢進. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会（新潟、2013. 7. 13.）
- 10) 堀水 慎、川瀬知之、久保田健彦、永田昌毅、奥田一博、富田尊志、両角俊哉、吉江弘正. Platelet-rich fibrin (PRF) との複合化によるヒト培養骨膜シートの骨形成活性の亢進. 第 56 回春季日本歯周病学会学術大会（昭和大、東京、2013. 5. 31-6. 1. タワーホール船堀）
- 11) 川瀬知之、奥田一博、永田昌毅、吉江弘正、中田 光. 自家培養骨膜シートの移植による歯周再生・顎堤形成治療 - より高活性な移植材料をめざして -. 第 27 回新潟移植再生研究会（有壬記念館、新潟、2013. 5. 24.）

【特許】

- 1) 山内慶次郎、阿部和幸、川瀬知之、田中孝明. (出願人：新潟大学、YSEC 株式会社) 「再生治療用低分解性フィブリンゲル膜の製造方法及びその製造装置」

(特願 2014-042293) (H26. 3. 5 出願).

- 2) 山内慶次郎、阿部和幸、川瀬知之、田中孝明. (出願人：YSEC 株式会社、新潟大学) 「細胞シート搬送用容器」(PCT/JP2013/064017) (H25. 5. 21 出願).
- 3) 川瀬知之、奥田一博 (出願人：新潟大学) 「ヒト骨膜培養方法」(米国特許第 8,420,392 号, 2013. 4. 16. 登録) (特許第 5330996 号, H25. 8. 2. 登録).

包括歯科補綴学

【論文】

- 1) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Arai Y, Matsuo A, Ohshima H, Nomura S, Ejiri S: Correlations between alveolar bone microstructure and bone turnover markers in pre- and postmenopausal women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 115(4): 12-e19, 2013.
- 2) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Yamada K, Ohshima H, Nomura S, Ejiri S: Microstructural observation with microCT and histological analysis of human alveolar bone biopsy from a planned implant site: A case report. *Open Dent J*, 17(7):47-54, 2013.
- 3) Saito T, Izumi K, Shiomi A, Uenoyama A, Ohnuki H, Kato H, Terada M, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Takagi R, Maeda T: Zoledronic acid impairs re-epithelialization through down-regulation of integrin $\alpha\beta6$ and transforming growth factor beta signalling in a three-dimensional in vitro wound healing model. *Int. J. Oral Maxillofac. Surg.*, 43(3): 373-380, 2014.
- 4) Ito K, Nomura A, Nomura S, Watanabe K. Effects of low-energy electron beam irradiation on flexural properties of self-curing acrylic resin. *J Prostodont Res*, 58: 55-61, 2014.

【商業誌】

- 1) 小林 博：看護学生のための実践ケア 義歯の取り扱い. *ナーシングキャンパス*, 1 (9) :44-45, 2013.

【学会発表】

- 1) Shiomi A, Izumi K, Saito T, Uenoyama A, Ohnuki H, Kato H, Terada M, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Egusa H, Nomura S, Maeda T: Cyclic mechanical pressure enhances terminal differentiation of tissue-engineered oral mucosa. 46th Meeting of the Continental European Division of the International Association for Dental Research with the Scandinavian Division, Florence, Italy, 2013. 9. 4-7, Program book: 93, 2013.
- 2) Shiomi A, Izumi K, Uenoyama A, Saito N, Saito T,

- Ohnuki H, Kato H, Terada-Nakaishi M, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Egusa H, Nomura S, Maeda T: Effect of oral keratinocyte-conditioned medium on the phenotypic alterations of oral fibroblasts in vitro. The 3rd International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, Krabi, Thailand, 2013. 12. 20-22, Program book: 97, 2013.
- 3) Kobayashi H, Kon H. Vibration Dose in Technical Procedures by Handpiece. 2nd Meeting of IADR Asia Pacific Region Thailand, 2013. 8. 20-23, suppl: 87, 2013.
- 4) Kon H, Kobayashi H, Watanabe K, Yamaga Y, Sakurai N, Nomura S. Students Peceptions of E-learning Applied to Preclinical Complete Denture Tchniques. 2nd Meeting of IADR Asia Pacific Region 2013 Thailand, 2013. 8. 20-23, suppl: 45, 2013.
- 5) 塩見 晶, 泉 健次, 江草 宏, 野村修一: 反復加圧刺激が口腔粘膜上皮の角化に及ぼす影響. - 3次元口腔粘膜モデルを用いた検討-. 日本補綴歯科学会 第122回学術大会, 福岡, 2013年5月18-19日, 日補綴会誌, 5・122回特別号: 113, 2013.
- 6) 山鹿義郎, 金谷 貢, 伊藤恭輔, 金子広美, 野村修一: 公転・自転式ミキサーを用いた混和が粉液型ライン材の流動性に与える影響. 日本補綴歯科学会 第122回学術大会, 福岡, 2013年5月18-19日, 日補綴会誌 5・122回特別号: 186, 2013.
- 7) 伊藤恭輔, 渡部 守, 野村修一, 野村章子, 田中昌博, 蒲原 敬. 在宅診療における効率的な部分床義歯精密印象法の開発. 日本老年歯科医学会 第24回学術大会, 大阪, 2013年6月5日, プログラム・抄録集 108頁, 2013.
- 8) 渡部 守, 伊藤恭輔, 野村修一. 在宅診療用に開発されたシリコン印象材を用いた義歯印象の検討. 日本老年歯科医学会 第24回学術大会, 大阪, 2013年6月5日, プログラム・抄録集 109頁, 2013.
- 9) 三上絵美, 田中みか子, 櫻井直樹, 芳澤享子, 山田一穂, 船山昭典, 三上俊彦, 野村修一, 江尻貞一: ヒト抜歯窩治癒過程における歯槽骨の骨梁構造・骨塩量の変化, 第33回日本骨形態計測学会, 2013年7月5日, 浜松市, 日本骨形態計測学会雑誌 23(1), S93. 2013.
- 10) 山鹿義郎, 野村修一: 粉液型ライン材の混和に公転・自転式ミキサーを用いる有効性. 平成25年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2013年7月6日, 新潟歯学会雑誌, 43(2): 145-146, 2013.
- 11) 昆はるか, 小林博, 櫻井直樹, 野村修一: E-learningシステムによる映像配信を取り入れた全部床義歯基礎実習の試み—アンケートによる評価—. 第32回日本歯科医学教育学会学術大会, 札幌, 2013年7月13日, プログラム抄録集 89頁, 2013.
- 12) 河村篤志, 高嶋真樹子, 白井友恵, 荒井良明, 奥村暢旦, 安島久雄, 櫻井直樹, 小野由紀子, 西山秀昌, 高木律男 RDC/TMD 分類と病態分類の併用と比較検討について. 第26回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 東京 2013年07月20-21日, 日顎誌: 25Suppl, 101頁, 2013.
- 13) 金子広美, 大川成剛, 金谷 貢, 伊藤恭輔, 山鹿義郎, 野村修一, 泉 健次: Cu含有量の異なる金銀パラジウム合金の接触腐食 - XPSによる腐食表面の分析 -. 第62回日本歯科理工学会学術講演会, 新潟, 2013年10月19-20日, 歯材器 32(5): 407, 2013.
- 14) 大川成剛, 金子広美, 山鹿義郎, 金谷 貢, 泉 健次: 電解法による有機無機複合体の合成とその特性. 第62回日本歯科理工学会学術講演会, 新潟, 2013年10月19-20日, 歯材器 32(5): 412, 2013.
- 15) 金谷 貢, 大川成剛, 山鹿義郎, 金子広美, 泉 健次: 日本歯科理工学会称号制度を活用して患者の利益を図るための方法に関する一考察. 第62回日本歯科理工学会学術講演会, 新潟, 2013年10月19-20日, 歯材器 32(5): 353, 2013.
- 16) 櫻井直樹, 木村慎二, 曾川裕一郎, 張替徹, 昆はるか. ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価システムの開発. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 倉敷, 2013年9月22日 プログラム・抄録集 230頁, 2013.
- 17) 塩見 晶, 泉 健次, 上野山敦士, 齋藤直朗, 齋藤太郎, 大貫尚志, 加藤寛子, 寺田-中石典子, 河野芳朗, 野澤-井上佳世子, 野村修一, 前田健康: 反復加圧刺激が口腔粘膜上皮に及ぼす影響について3次元口腔粘膜モデルを用いた組織学的, 免疫組織化学的検討. 平成25年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2013. 11. 9, 新潟歯学会雑誌 43(2): 156, 2013.
- 18) 金子広美, 野村修一: Cu含有量の異なる金銀パラジウム合金の接触腐食面のXPS分析. 平成25年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2013年11月9日, 新潟歯学会雑誌, 43(2): 156, 2013.
- 19) 伊藤恭輔, 金谷 貢, 金子広美, 野村修一. 口腔内環境下での金銀パラジウム合金の腐食. 平成25年度日本補綴歯科学会関越支部 総会・学術大会, 栃木, 2013年11月30日, プログラム・抄録集 11頁, 2013.

【受賞】

- 1) 公益社団法人日本補綴歯科学会第122回学術大会 課題口演賞. 塩見晶. 演題名: 反復加圧刺激が口腔粘膜上皮の角化に及ぼす影響—3次元口腔粘膜モ

デルを用いた検討一。平成 25 年 5 月 19 日。

【研究費獲得】

- 1) 田中みか子, 野村修一, 江尻貞一, 依田浩子, 田中礼, 山田一穂: 歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発 —歯科臨床からのアプローチ—. 平成 22-25 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 課題番号 23592839. (継続)
- 2) 金田恒, 小林博, 佐藤直子, 野村修一, 昆はるか, 櫻井直樹: 在宅療養にも応用できる, 難症例に対する簡便な全部床義歯製作システムの確立. 平成 25-28 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 課題番号 25462989. (新規)
- 3) 櫻井直樹, 小林博, 野村修一, 昆はるか, 木村慎二, 堀 潤一: ICT (情報通信技術) とピエゾセンサーを融合した在宅嚥下機能評価訓練システム開発. 平成 25-28 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 課題番号 25462990. (新規)
- 4) 江尻貞一, 澁谷 俊昭, 小萱 康徳, 田中みか子, 佐藤 カズヒコ, 渡邊 竜太, 池亀 美華, 三上絵美: 卵巣摘出歯周病サルを用いた高齢女性の歯槽骨喪失メカニズムの解明 平成 23-25 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 課題番号 24593133. (継続)
- 5) 小林 博, 山田好秋: 微小加速度計と SD メモリー携帯記録装置による歯科切削時の振動被爆・筋電図解析. 平成 24-27 年度科学研究補助金 基盤研究 (C) 代表者 課題番号 24592907. (継続)
- 6) 佐藤直子: 捕食時の開口運動に関する研究 ~加齢・歯の喪失・義歯が与える影響~. 平成 22-24 年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22791876 (継続)
- 7) 木村慎二, 野村修一, 植田耕一郎, 井上誠, 櫻井直樹: ピエゾセンサーを用いた X 線非使用下嚥下検査の応用 平成 24-26 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) 課題番号 24500574. (継続)
- 8) 金城篤史: 顎機能障害患者における肩こり・腰痛発症メカニズム解明のための生体力学的検討. 平成 25 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 (奨励研究) 課題番号 25C045. (新規)
- 9) 昆はるか: 摂食支援を想定した姿勢変化が健常前期高齢者の咀嚼嚥下運動に与える影響. 平成 25 年度新潟大学プロジェクト推進経費 (奨励研究) 課題番号 25C035. (新規)

【その他】

- 1) 野村修一: 高齢者の無歯顎補綴治療 —40 年間の臨床から観えてきたこと—. 特別講演平成 25 年度日本補綴歯科学会関越支部 総会・学術大会, 栃木, 2013 年 11 月 30 日, プログラム・抄録集 8 頁, 2013.
- 2) 小林 博: 加速度から見た咀嚼. 日本顎口腔機能学会第 8 回セミナー, 北海道北広島, 2013 年 9 月 7-9 日, プログラム・抄録集, 2013.

組織再建口腔外科学分野

【著書】

- 1) 小林正治: 顎矯正手術. 口腔科学(編者: 戸塚靖則, 高戸毅), 617-626 頁, 朝倉書店, 東京, 2013.

【論文】

- 1) Kobayashi T, Funayama A, Hasebe D, Kato Y, Yoshizawa M, Saito C: Changes in overnight arterial oxygen saturation after mandibular setback. *Br J Oral Maxillofac Surg* 51(4): 312-318, 2013.
- 2) Yoshizawa M, Koyama T, Izumi N, Niimi K, Ono Y, Ajima H, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Saito C: Autotransplantation or replantation of cryopreserved teeth: a case series and literature review. *Dental Traumatol* 30(1): 71-75, 2013.
- 3) Tsuneki M, Maruyama S, Yamazaki M, Abe T, Adeola HA, Cheng J, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T, Takagi R, Funayama A, Saito C, Saku T: Inflammatory histopathogenesis of nasopalatine duct cyst: a clinicopathological study of 41 cases. *Oral Dis* 19(4): 415-424, 2013.
- 4) Kojima T, Hasegawa T, Freitas PHL, Yamamoto T, Sasaki M, Horiuchi K, Hongo H, Yamada T, Sakagami N, Saito N, Yoshizawa M, Kobayashi T, Maeda T, Saito C, Amizuka N: Histochemical aspects of the vascular invasion at the erosion zone of the epiphyseal cartilage in MMP-9-deficient mice. *Biomed Res* 34: 119-128, 2013.
- 5) Shingaki S, Kanemaru S, Oda Y, Niimi K, Mikami T, Funayama A, Saito C: Distant metastasis and survival of adenoid cystic carcinoma after definitive treatment. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 2013. doi: 10.1016/j.ajoms.2013.09.013.
- 6) Nagata M, Noman AA, Suzuki K, Kurita H, Ohnishi M, Ohyama T, Kitamura N, Kobayashi T, Uematsu K, Takahashi K, Kodama N, Kawase T, Hoshina H, Ikeda N, Shingaki S, Takagi R: ITGA3 and ITGB4 expression biomarkers estimate the risks of locoregional and hematogenous dissemination of oral squamous cell